

造れない区域の工事に着手するため、政府が沖縄県へ提出

「設計変更申請」は認められない!

工事費2400億円から
2兆5500億円に
膨れ上がる

軟弱地盤は
改良できない

活断層を
調べていない

大規模な環境破壊に
環境調査なし

「設計変更申請」問題点の例

設計変更前に
サンゴ移植

ジュゴンの保護が
できていない

危険な普天間基地の
返還はいつに

辺野古新基地建設予定地
(2020年5月10日撮影
『チョイさんの沖縄日記』
から転載)

#辺野古の設計変更を許さない

とき◇ 7月12日(日)午後2時開始

ネットで中継します

ところ◇ 全水道会館5階・中会議室(東京都文京区本郷1-4-1)

JR水道橋駅東口(お茶の水駅寄り)2分、都営地下鉄三田線水道橋駅A1出口1分

参加費◇ 500円

★参加人数によっては入場制限する場合があります

◆「設計変更申請」の問題点と意見書提出呼びかけ◆(沖縄から中継)

きたうえだ つよし

北上田 毅さん(元土木技術者・沖縄平和市民連絡会)

◎意見書提出のための資料を配布!

集会迄にはブログでダウンロードできます。集会動画も配信予定

Web中継など、詳細はブログ(アドレス・QRコードで)をご覧ください。

主催◇ 辺野古の海を土砂で埋めるな!首都圏連絡会

「設計変更申請」に意見書を!キックオフ集会

工事を止める、たいへん重要なとき！

沖縄県が不許可にするため、多くの意見書が大切です

辺野古新基地建設予定海域の大浦湾に「マヨネーズ並み」の軟弱地盤が見つかったため、計画の大幅な変更を迫られた沖縄防衛局は4月21日、軟弱地盤の改良工事に関する設計概要変更申請を沖縄県に提出しました。

沖縄県を挙げてコロナ感染拡大防止策を進め、日本政府が不要不急の行動の「自粛」を強要する中での暴挙です。何よりも投票者の72%が反対した県民投票や先日の県議会選挙などで示された民意に全く反するものです

設計変更申請の最大の問題点は、軟弱地盤が最深90mに達するという指摘に対して、最長750mも離れた3地点の調査から強度を推定し70m以深は「非常に硬い」と強弁し申請したことです。

しかし、70m以深の地盤改良の設備や実績は世界のどこにもありません。大浦湾の埋め立て予定地には活断層が存在しているとの指摘もあります。70m以深の埋め立てができない辺野古新基地建設は完全に破綻しています。

地盤改良性を検討する会は、政府や受注企業から

設計変更申請は、造れない工事をごまかし、巨額な税金で環境破壊して全て埋め立てるため

工事の安全な技術検討機関関係者研究費の名目で

金銭をもらっていた学者が多く占め、調査データが20か所もの誤りを示していたにもかかわらず、問題ないと設計変更にお墨付きを与えるなど、その公正性に疑いが出されています。また、辺野古新基地建設に固執するのは政治家やゼネコンの利権があるとも指摘されています。

今コロナの世界的な流行の中で、感染拡大防止とそれに関連する対策のために、莫大な支出を迫られています。不要不急な辺野古新基地建設はやめて、コロナ対策にまわすべきです。人殺しの軍事基地ではなく、人々の命と生活に使うべきです。そして今が、杜撰で問題だらけの変更によって工事が強行される重要な岐路にあります。

7月中旬には設計変更申請書の告示・縦覧が始まる予定で、それから3週間以内に沖縄県へ意見書を提出することができます。多くの意見書を出すことで沖縄県知事が許可しない後押しとなるでしょう。

そこで、辺野古新基地を造ることが出来ない大きなポイントである軟弱地盤の改良のための設計変更申請の問題点を明らかにし、意見書の提出を呼びかけるキックオフ集会を開催します。参加し拵げていきましょう。



<会場案内図>

辺野古の海を土砂で埋めるな！首都圏連絡会（通称：埋めるな！連）

ブログ ⇒ <https://henokoumeruna2018.exblog.jp>

○問い合わせ

辺野古への基地建設を許さない実行委員会

TEL 090-3910-4140（沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック）

平和を実現するキリスト者ネット

TEL&FAX 03-3813-2885

辺野古・高江を守ろう！NGOネットワーク

Email ; henokotakaengo@gmail.com

